	.件上未问	等専門学	校 開講年》	度 平成29年度	(2017 十/又)	1又	業科目	実験実習1	V	
科目基礎	礎情報		•		,					
科目番号		0055			科目区分		専門 / 必修			
授業形態			 実習	 캠		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科						-1220	後修手位. 2 4			
開設期						対象学年 週時間数		4		
教科書/教材 実験実習[習Ⅳ指道書		ZEFTIEIXX					
担当教員				大橋 太郎,岡本 峰基		人関口!				
<u>===300</u> 到達目	•	ון אנוו אנין	/		7/7人/10 10 11 7/7/八口 3人	Дости	71			
		レーフ市田	ケロミ学/二月月 マ I田名	た沈みマレレナに	=+:川 . 牛 ケ 七:ナナ	トフヾ+± シ ナ ;-	た羽伊オマ			
			丸誠に関9 る理解	<u>を深めるとともに,</u>	司測・刑御刀法の。	大〇7又1川7	<u>で首待りる.</u>			
ルーブ	リック		TEMATO 45 1 2 TUNE	+	I#3#44-15-703-1					
				達レベルの目安	標準的な到達し	/ベルのE	女	未到達レベ	ルの目安	
評価項目1			事制に内容を ポートを作品 理される.				理解して、締め切り へを受理される. 内容を十分理解できずにレポート を締め切りまでに受理できない.			
評価項目2			必要な専門知 , 率先して記 る.	, 率先して実験に臨むことができ 用いて学習			識について指導書を て、実験に臨むこと に臨むことができない.			
評価項目3			知識や技術をして実験実置	知識や技術を活用して,自ら率先 して実験実習をおこなうことがで きる。				知識や技術ことができ	を実験実習に活用する ない.	
 学科の:	到達目標」	<u> </u>	 関係		•					
<u>」 (1002</u> 教育方)		<u> </u>	× 9 1/17							
	四寸	- 東田ム	明を理解するこう	で必要が知識を実験	を通じて休除してき	サボ さき	- 田紹帝	を加堀するた		
既要		こない	到で埋解するフん 評価する.	. C必安は知識を天禊	を通して体験して 、	<i>た</i> か.	こ,	で記事 るん	めにレハー 下作成です	
授業の進	め方・方法	受理さ	れるように提出す	る.					をおこない, 期日内に	
注意点		美験ノ 事前に 装置の	ート,クラノ用紙 指導書に目を通し 取り扱い方は,復	i, レホート用紙, 筆 て, 実験の流れを把 i習することが困難で	記用具,定規,電导 握しておく. あるため,実験中に	₹,指導i こ使用しカ	§を用意する ∈計測機器の	る. D名称, 取り	扱い方を十分理解して	
	画	1おく.		:, レホート用紙, 筆 て, 実験の流れを把 習することが困難で すべて実施して, す					扱い方を十分理解して	
	画	1おく.				受理された		されない.	扱い方を十分理解して	
	画	おく. 指定さ	れた実験テーマを			受理された 週ごと	ぶいと評価で の到達目標	されない.		
注意点 授 業 計[画	おく. 指定さ	れた実験テーマを 授業内容 ガイダンス			受理された 週ごと 実験の	ないと評価で の到達目標 進め方や評 夕接地によ	されない.		
		お 指定さ 週 1週 2週 3週	れた実験テーマを 授業内容 ガイダンス トランジスタに トランジスタに	すべて実施して, す よる増幅回路1 よる増幅回路2		受理された 週ごと 実験の エミッ いてミッ いてミッ	ないと評価での の到達目標 進め方や評 夕接する. 夕接する. 夕験する.	されない. 価方法につい る各種バイア る各種バイア)て理解する. 7ス回路による特性に 7ス回路による特性に	
	画 1stQ	おいた。 指定さ 週 1週 2週 3週 4週	れた実験テーマを 授業内容 ガイダンス トランジスタに トランジスタに PLCを用いた制	すべて実施して, す こよる増幅回路1 こよる増幅回路2 御1		受理されが 週ごと 実験の エミッ実 いて実 PLCを	の到達目標 の到達目標 進め方や評 夕接地によ 夕接する. 夕接する. 用いた各種	されない. 価方法についる各種バイア る各種バイア	Nて理解する. 7ス回路による特性に 7ス回路による特性に 1験をおこなう.	
		お 指定さ 週 1週 2週 3週 4週 5週	だ実験テーマを 授業内容 ガイダンス トランジスタに トランジスタに PLCを用いた制 PLCを用いた制	すべて実施して,す こよる増幅回路1 こよる増幅回路2 御1 御2		選びと 実験の エミッ いて実 エいて実 PLCを PLCを	の到達目標 進め方や評 夕接地によ 身接する. り接する. りませいによ 見いた各種 用いた各種	されない. 価方法についる各種バイア る各種バイア 制御回路の実 制御回路の実	Nて理解する. 7ス回路による特性に 7ス回路による特性に 験をおこなう. 験をおこなう.	
		おまた。 指定くさ 1週 2週 3週 4週 5週 6週	れた実験テーマを 授業内容 ガイダンス トランジスタに トランジスタに PLCを用いた制 pLCを用いた制 演算増幅器の応	すべて実施して,す よる増幅回路1 よる増幅回路2 御1 御2 5用1		受理されが 実験の エミッリ いてミッ いて実 いて実 トしてを PLCを オペア	いと評価での到達目標度はあった。 の到達目標度を対しては、 タ接する。によりでする。 目のたちを理解していた。 目のたちをできます。 はいたとをできます。 はいたをできます。 はいたをできます。 はいたをできます。 はいたをできます。 はいたをできます。 はいたをできます。 はいたをできまする。 はいたをできまする。 はいたをできまする。 はいたをできまする。 はいたをできまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	価方法についる各種バイアる各種バイア制御回路の実制御回路の実基本回路の実	Nて理解する. 7ス回路による特性に 7ス回路による特性に 験をおこなう. に験をおこなう. に験をおこなう.	
受業計		おまた。 指定くさ 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	### Time	すべて実施して,す よる増幅回路1 よる増幅回路2 御1 御2 5用1		受理されが 選が 実験の エミッ実 エミッ実 PLCを オペア 基本回	いと評価での到達目標を対している。 の到達を対している。 タ験する地では、は、 タ験する地では、は、 タ験する。 日かいたと、 日かいたとよる。 日かいたによる。 日かいたによる。 というには、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいたは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなは、 はいなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の一位の	Nて理解する. 7ス回路による特性に 7ス回路による特性に 験をおこなう. 験をおこなう.	
受業計		お記された。 指定された。 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	れた実験テーマを 授業内容 ガイダンス トランジスタに トランジスタに PLCを用いた制) アLCを用いた制) 演算増幅器の応 演算増幅器の応 まとめ	すべて実施して,す よる増幅回路1 よる増幅回路2 御1 御2 5用1		受理されが 選ごと 実験の エいて エいて アレCを オペペア 基本の これま	の到達目標語 の到達目標語 夕接する。 夕接する。 夕接する。 り接する。 日いた各種 日いた各種 日いたの内容を での内容を	価方法についる各種バイアる各種バイアる各種バイア る各種バイア る各種の裏側御回路の実 制御回路の実 基本回路の実 をとめる。	いて理解する. アス回路による特性に アス回路による特性に アス回路による特性に 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう.	
受業計		お記された。 指定 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	れた実験テーマを 授業内容 ガイダンス トランジスタに トランジスタに PLCを用いた制 pLCを用いた制 演算増幅器の応 演算増幅器の応 まとめ サーボ機構1	すべて実施して,す よる増幅回路1 よる増幅回路2 御1 御2 5用1		要理されが選ぶとの実験のエいてミッ実PLCをオペスト本本のこれま1軸ア・	の到達目標 進め方やにより接する. 夕接する. 夕接する. り接する. り接する. 日いた各種 コンアによる での内容を ームを用い	ではない. 「個方法についる各種バイア」 る各種バイア る各種バイア 制御回路の実 制御回路の実 基本回路の実 た回路の実 まとめる. こPID制御実	いて理解する. アス回路による特性に アス回路による特性に 実験をおこなう. 実験をおこなう. 実験をおこなう. 変をおこなう. 変をおこなう.	
受業計		おまた。 指定 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	れた実験テーマを 授業内容 ガイダンス トランジスタに トランジスタに PLCを用いた制 演算増幅器の応 演算増幅器の応 まとめ サーボ機構1 サーボ機構2	まれて実施して,す による増幅回路1 による増幅回路2 1御1 1御2 5用1 5用2		理されが 選験の ッ実 ッ まい ここれ まい ここ で との ッ まっ い まっ で との アーロ これ まっ これ まっ 1 軸 アーコ 1 軸	いと評価で の単数を対していた。 を対すがでした。 を対すがでいた。 を対して、 を対して とが、 とが、 とが、 とが、 とが、 とが、 とが、 とが、 とが、 とが、	ではい、 価方法についる各種バイアの表別のの実制御回路の実 基本回路の実施を回路の実施を回路の実施を回路の実施をできる。 ことのものできる。これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、	Aで理解する. 7ス回路による特性に アス回路による特性に 験をおこなう. 験をおこなう. をおこなう. をおこなう. 後をおこなう.	
受業計		に 指定 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	### Time	まれて実施して,す による増幅回路1 による増幅回路2 (御1 (御2 5用1 5用2		理されが実験の 実験の 実	いと評価で の到達を持ち地に、 の到達を接する。 を接する。 では、 を表すでで、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、	価方法についる各種バイアる各種バイアる各種バイア制御回路の実制御回路の実を回路の実施を回路の実施を回路のまたとめる。こPID制御実際で装置を制作	Nて理解する. 7ス回路による特性に 7ス回路による特性に 1験をおこなう. 1験をおこなう. 2験をおこなう. 2をおこなう. 2をおこなう. 2をおこなう. 2をおこなう.	
受業計	1stQ	に 指定 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 11週 12週	### Time	まずべて実施して,す こよる増幅回路1 こよる増幅回路2 御1 御2 5用1 5用2 遠隔制御1 遠隔制御1 遠隔制御2		世されが 選集 エいことの 実 エいて ミマ ア PLCを ア PLCを ア 中 L Cを ア 回 こ 1 軸 ア ト ト ネ ッ ト	いと評価で の進夕験夕験 別いたに を接する地では、 をはなる。 をはなる。 をのかでは、 のがでは、 のがでいた。 のがでいでいでいでいでいでいでいでいでいでいでがでいでいでいでがでいでいでいでい	価方法についる各種バイアる各種バイアる各種バイアる各種バイアる各種がイアる各種がの実制御回路の実施を回路の実施を回路のまたとめる。ことの制御実施で装置を制御で装置を制御で装置を制御を表置を制御を表面を制御を表面を制御を表面を制御を表面を制御を表面を制御を表面を制御を表面を制御を表面を制御を表面を制御を表面を制御を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を	Nて理解する. Yス回路による特性に Yス回路による特性に 験をおこなう. 験をおこなう. 験をおこなう. 後をおこなう. 後をおこなう. 検をおこなう. りであま験をおこなう.	
受業計		お記した。 指定 3週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	### Time	まれて実施して,す による増幅回路1 による増幅回路2 間卸1 間か2 5用1 5用2 遠隔制御1 遠隔制御2 別振1		世されが 選集 エいてミていた。 PLC ペートには、 PLC ペートには、 PLC ペートには、 アールでは、 1軸アートートントと、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	いと評価できないと評価できないと評価できないという。 という 単々 は 接する はる いっこう はん ない でんし かん を かん を かん を かん とり かん を かん とり かん という は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	価方法についる各種バイアの表種がイアの表種がイアの表種がイアの表類を関係の実施を関係の表表を回路ののまた。ことのものので表表を表示を対象の表表を対象の表表を対象の表表を対象の表表を対象の表表を対象の表表を対象を表示を対象を表示を対象を表示を対象を表示を対象を表示を対象を表示を対象を表示を対象を表示を対象を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	トで理解する. アス回路による特性に アス回路による特性に アス回路による特性に 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一切る実験をおこなう. 「でする実験をおこなう. 「でする実験をおこなう.	
受業計	1stQ	お記している。 過 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	だ実験デーマを 授業内容 ガイダンス トランジスタに トランジスタに PLCを用いた制 演算増幅器の応 演算増幅器の応 まとめ サーボ機構1 サーボ機構2 PICNICによるう 振動の絶縁と制 振動の絶縁と制	まれて実施して,す による増幅回路1 による増幅回路2 間卸1 間か2 5用1 5用2 遠隔制御1 遠隔制御2 別振1		世されが 選集 エいてミていた。 PLC ペートには、 PLC ペートには、 PLC ペートには、 アールでは、 1軸アートートントと、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	いと評価できないと評価できないと評価できないという。 という 単々 は 接する はる いっこう はん ない でんし かん を かん を かん を かん とり かん を かん とり かん という は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	価方法についる各種バイアの表種がイアの表種がイアの表種がイアの表類を関係の実施を関係の表表を回路ののまた。ことのものので表表を表示を対象の表表を対象の表表を対象の表表を対象の表表を対象の表表を対象の表表を対象を表示を対象を表示を対象を表示を対象を表示を対象を表示を対象を表示を対象を表示を対象を表示を対象を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	Nて理解する. Yス回路による特性に Yス回路による特性に 験をおこなう. 験をおこなう. 験をおこなう. 後をおこなう. 後をおこなう. 検をおこなう. りであま験をおこなう.	
授業計	1stQ	お記した。 指定 3週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	### Time	まれて実施して,す による増幅回路1 による増幅回路2 間卸1 間か2 5用1 5用2 遠隔制御1 遠隔制御2 別振1		世されが 実工いて エいて PLCペ本れ 1軸 ネネ理理 コネネネ理理 は は は は に に に に に に に に に に に に に	いと評価できないと評価できないと評価できます。 の進夕験夕験用用ン路でしたをのをを力しています。 は接ばないたにに、は、一人カーククをシーククをシークをでいる。 は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、は、は、	価方法についる各種バイアる各種バイアる各種バイアる各種がある。制御回回路のる。ごPID制御軍制御で装置を制金で装置を制金で装置を制金でまる。コレーションまとめる。	トで理解する. アス回路による特性に アス回路による特性に アス回路による特性に 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一切る実験をおこなう. 「でする実験をおこなう. 「でする実験をおこなう.	
授業計	1stQ	お記している。 過 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	だ実験デーマを 授業内容 ガイダンス トランジスタに トランジスタに PLCを用いた制 演算増幅器の応 演算増幅器の応 まとめ サーボ機構1 サーボ機構2 PICNICによるう 振動の絶縁と制 振動の絶縁と制	まれて実施して,す による増幅回路1 による増幅回路2 間卸1 間か2 5用1 5用2 遠隔制御1 遠隔制御2 別振1		世されが 実工いて エいて PLCペ本れ 1軸 ネネ理理 コネネネ理理 は は は は に に に に に に に に に に に に に	いと評価で クトラー クリーク クリーク クリーク クリーク クリーク クリーク クリーク クリ	価方法についる各種バイアる各種バイアる各種バイアる各種がある。制御回回路のる。ごPID制御軍制御で装置を制金で装置を制金で装置を制金でまる。コレーションまとめる。	トで理解する. アス回路による特性に アス回路による特性に アス回路による特性に 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一切る実験をおこなう. 「でする実験をおこなう. 「でする実験をおこなう.	
受業計	1stQ 2ndQ	お記した。 指定される。 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	大字験テーマを 授業内容 ガイダンス トランジスタに トランジスタに PLCを用いた制 演算増幅器の応 演算増幅器の応 まとめ サーボ機構2 PICNICによる FICNICによる 振動の絶縁と制 振動の絶縁と制 まとめ まとめ	まれて実施して,す による増幅回路1 による増幅回路2 間卸1 間か2 5用1 5用2 遠隔制御1 遠隔制御2 別振1		世されが 実工いて エいて PLCペ本れ 1軸 ネネ理理 コネネネ理理 は は は は に に に に に に に に に に に に に	いと評価できないと評価できないと評価できます。 の進夕験夕験用用ン路でしたをのをを力しています。 は接ばないたにに、は、一人カーククをシーククをシークをでいる。 は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、は、は、	価方法についる各種バイアる各種バイアる各種バイアる各種がある。制御回回路のる。ごPID制御軍制御で装置を制金で装置を制金で装置を制金でまる。コレーションまとめる。	トで理解する. アス回路による特性に アス回路による特性に アス回路による特性に 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一切る実験をおこなう. 「でする実験をおこなう. 「でする実験をおこなう.	
受業計	1stQ 2ndQ	お記した。 指定される。 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	大字験テーマを 授業内容 ガイダンス トランジスタに トランジスタに PLCを用いた制 演算増幅器の応 演算増幅器の応 まとめ サーボ機構2 PICNICによる FICNICによる 振動の絶縁と制 振動の絶縁と制 まとめ まとめ	まれて実施して,す による増幅回路1 による増幅回路2 間卸1 間か2 5用1 5用2 遠隔制御1 遠隔制御2 別振1		世 理 選 実 エい LC の PLC ペ 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	いと評価できないと評価できないと評価できます。 の進夕験夕験用用ン路でしたをのをを力しています。 は接ばないたにに、は、一人カーククをシーククをシークをでいる。 は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、種種では、は、は、は、	価方法についる各種バイアる各種バイアる各種バイアる各種がある。制御回回路のる。ごPID制御軍制御で装置を制金で装置を制金で装置を制金でまる。コレーションまとめる。	トで理解する. アス回路による特性に アス回路による特性に アス回路による特性に 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一般をおこなう. 一切る実験をおこなう. 「でする実験をおこなう. 「でする実験をおこなう.	
授業計1	1stQ 2ndQ	お記している。 お記している。 お記している。 お記している。 お記している。 お記している。 お記している。 お記している。 お記している。 お記している。 お記している。 お記している。 お記している。 お記している。 お記している。 お記している。 おいるでは、またいる。 はいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またい。 はいるでは、またい。 はいるでは、またい。 はいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またい。 はいるでは、またいるでは、またいるでは、またい。 はいるでは、またいるでは、またいるでは、またい。 はいるでは、またいるでは、またいるでは、またい。 はいるでは、またいるでは、またいるでは、またい。 はいるでは、またい。 はいるでは、またいるでは、またいるでは、またいるでは、またい。 はいるでは、またいるでは、またいなでは、またい。 はいるでは、またいるでは、またいなでは、またい。 はいるでは、またいなでは、またいなでは、またい。 はいるでは、またいなでは、ま	れた実験テーマを 授業内容 ガイダンス トランジスタに トランジスタに PLCを用いた制 演算増幅器の応 まとめ サーボ機構1 サーボ機構2 PICNICによるう 肝ICNICによるう 振動の絶縁と制 まとめ まとめ まとめ	まれて実施して,す による増幅回路1 による増幅回路2 間卸1 間御2 5用1 5用2 遠隔制御1 遠隔制御2 則振1 則振2	べてのレポートが受	世 理 選 実 エい LC の PLC ペ 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	いと評価では、大きないというでは、大きないというでは、大きないでは、まないでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	価方法についる各種バイア高各種バイア高各種がいます事態を表していますまたまとめるまとめるまとめる	トで理解する. プス回路による特性に アス回路による特性に 験をおこなう. 験をおこなう. 診をおこなう. 診をおこなう. 診をおこなう. 診をおこなう. 変をおこなう.	
授業計	1stQ 2ndQ 合	お記した。 お記した。 過 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週	### Table 1	まずべて実施して,す こよる増幅回路1 こよる増幅回路2 間1 御2 5用1 5用2 遠隔制御1 遠隔制御2 別振1 別振2	べてのレポートが受	理されが 実工い工い PLC ペ本れ 1軸 ツリッ実 ツ実ををア 回ま ア・ア・トト ととままま	いと評価では、大きないというでは、大きないというでは、大きないでは、まないでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	価方法についる各種バイア制御回回路ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	トで理解する. 「フス回路による特性にでなる特性にでいません。」 「験をおこなう。」 「験をおこなう。」 「験をおこなう。」 「検をおこなう。」 「対してはなる。」 「対してはなる。」 「対してはなる。」 「対してはなる。」 「対してはなる。」 「対してはなる。」 「対してはなる。」 「対してはなる。」 「なる。」	
	1stQ 2ndQ 合 調合 10	お記した。 指定される。 過 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 15週 16週 15週 16週	### Table 1	まずべて実施して,す こよる増幅回路1 こよる増幅回路2 間間1 間2 5用1 5用2 遠隔制御1 遠隔制御2 訓振1 訓振2	べてのレポートが受ける。 態度 0	理されが 実工いていた。 アレCペ本れ軸・ツットととままれる。 では、アロまアア・トトととまままでは、1000000000000000000000000000000000000	いと評価では、大きないというでは、大きないというでは、大きないでは、まないでは、大きないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	価方法についる各種バイア高各種バイア高各種がバイア制御回回ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	で理解する. 「ス回路による特性に」 「決をおこなう. 「験をおこなう. 「験をおこなう. 「検をおこなう. 「対をおこなう. 「対をおこなう. 「対してはなった。」であまいでは、で用いて実験する. 「なきれてはなった。」であまり、「なきない。」であまり、「なきない。」 「ないったを用いて実験する. 「会計」	